

令和5年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：26005

学校名：簾舞小学校

改訂のポイント

- 『**挑戦する意欲**』と『**学び合い**』の両立
- 小中9年間の『**課題探究的な学習**』と『**地域性を生かした指導**』の充実

項目名

項目内容

項目内容の具体

目標

「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像

☆自ら考え、仲間とともに学びを深める子の育成
～子どもが見方・考え方を働かせることのできる「問いのある授業」～

「学ぶ力」に関する成果や課題

主体的に学習に取り組む態度

【**昨年度の具体的な取組**】
○「？」が生まれる学習展開の工夫
・子どもを揺さぶる教材化
・次時への意欲となる振り返り

【成果】

⇒教材化の工夫による「問題意識」の醸成
⇒各教科や総合的な学習の時間にタブレットを適切に使用することで、「やってみたい」という思いをもつことができた。（アンケート「学習の中でICT機器を役立てている」9割近くの子が肯定的回答）

【課題】

◇考えを言語化するための手立て
◇自分の思いや考えを「人に伝える」という点が課題。（アンケート「自分が思っていることや感じていることを人に伝えている」2割が否定的回答）

思考力・判断力・表現力等

【**昨年度の具体的な取組**】
○「！」が生まれる教師の関わり
・子どもの「もっと」を生み出す問い直し
・子どもの思いを繋げる「板書」や「ICT」

【成果】

⇒交流、振り返りの場の設定
⇒自己を振り返る場や交流場面を意図的に設定することで、意見の違う人の話を聞きたいと思っている子が増えた。（「意見の違う人とも、よく話し合おうとしている」9割近くの子が肯定的回答）

【課題】

◇子どもの「！」を深める課題の吟味。
◇自分の思いや考えを表現することが苦手な子どもがいることが課題。（アンケート「自分が思っていることや感じていることを人に伝えている」「話の内容や順序を考えている」等で2～3割の子が否定的回答）

基礎的・基本的な知識及び技能

【**昨年度の具体的な取組**】
○宿題・家庭学習の取組と家庭への啓発
○専科指導・TT・少人数指導・にーごプロジェクト・先生がいっぱいでの複数教員での指導。

【成果】

⇒宿題や家庭学習で反復練習の取組が定着した。
⇒（アンケート「分からないことはそのままにせず、分かるまで努力している」8割近くの子が肯定的回答）

【課題】

◇宿題から家庭学習へ、自主的な取組への基礎作り
◇計画的に学習に取り組むことが課題。（アンケート「自分で計画を立てて勉強している」4割が否定的回答）

今年度の具体的な改善策（取組）

取組の最重点

【**取組の共有**】
・「**課題探究的な学習**」「**挑戦する意欲を伸ばし、友達との学び合い**」で、9年間の子ども一人一人の資質、能力を高める。

具体的な改善策（取組）

- 『子どもが見方・考え方を働かせることのできる』授業を創造する⇒「**他者受容感、自己決定感**」を高める授業の推進
- 『**挑戦する意欲**』『**自ら学ぶ方法**』と『**友達と学ぶ会う方法**』を身に付ける教材化と教師の関わりについて研究を深める
- 子ども自ら課題を見出し、解決していく授業づくり⇒**教師の間接的な文脈（ストーリー）を意識**して授業をつくる
- 先生がいっぱい**・専科指導・少人数指導・TTの推進、自信をもたせるきめ細かな指導の充実 ⇒**職員みんなで子どもを育てる**
- ICTを活用した学習活動を通して情報活用能力を高める（タブレット有効活用・**課題探究的な学習の深化・ベストミックス**）
- 意味理解を伴った知識の習得と、知識を使いこなす力を伸ばすメモの活用。
- 宿題・家庭学習の取組と家庭への啓発の更なる推進（基礎基本の定着・基礎に降りていく学び）

検証の方法

各種調査や子どもの自己評価指標の活用

- 各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果（日常のテストやノート、観察等）から、
- 全国学力・学習状況調査や学校独自の調査結果等を活用 ○2期4節に実施予定の本校独自の振り返りアンケートを活用
- 札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）・ICTの活用に係るアンケートから、今年度重点に関わる項目をピックアップし考察する。